

兵庫県立丹波医療センター 地域医療連携センターだより



TAMBA MEDICAL CENTER

Vol.22
2024 11



〒669-3495 兵庫県丹波市氷上町石生 2002 番地 7 TEL:0795-88-5200(代表)

WAVE

経尿道的水蒸気治療

前立腺肥大症

新しい治療を開始しました！

当院では、前立腺肥大症に対する手術治療として、従来の TURP(経尿道的前立腺切除術)に加え、WAVE(経尿道的水蒸気治療)を 2023 年 11 月から開始しました。

経尿道的水蒸気治療(WAVE)とは、高温の水蒸気を用いる前立腺肥大症の新しい治療法で、2022 年 9 月に本邦で保険承認されました。Rezüm(レジューム)システムを使用して、肥大した前立腺に 103℃の水蒸気を注入し、前立腺組織を約 70℃まで上昇させ、1-3 カ月かけて組織を壊死・退縮させます。身体に対する負担が少なく、異物を体内に残さずに治療することが可能になります。これまで行われてきた温熱療法と比べ、水蒸気を利用しているため組織内の対流によってムラのない治療効果が得られ、尿道粘膜や性功能温存が可能になりました。



泌尿器科部長
岡本 雅之



- ① 麻酔後にデリバリーデバイスを尿道に挿入します
- ② 前立腺にニードルを穿刺し、9秒間加熱された水蒸気を放出します。
- ③ 加熱された前立腺組織は壊死して退縮します。

手術は全身麻酔や脊椎麻酔で行う大体 10 分程度の手術です。尿道から内視鏡を挿入し、肥大した前立腺の腺腫に針を刺して 103℃の水蒸気を 9 秒間注入します。前立腺肥大症の程度に応じて、針を刺す回数が異なります。手術後は尿道カテーテルを留置しますが、術後尿道に浮腫がある間にカテーテルを抜去すると排尿困難が出現しますので、尿道カテーテルは患者さんの状況に応じて術後 5 日間～1 カ月程度留置します。

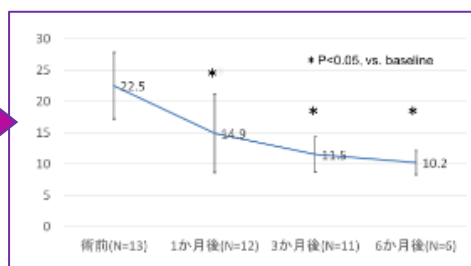
WAVE は身体に対する負担が少ないのが特徴です。出血量も少なく、抗血小板薬や抗凝固薬を内服中の患者さんでも治療が受けられます。そのため従来の手術療法(TURP や HoLEP など)が困難な患者さんが対象となります。関連学会が策定した指針では、以下のような患者さんが対象と定められています。

- ・全身状態不良のため合併症リスクが高い症例
- ・高齢もしくは認知機能障害のため術後せん妄、身体機能低下のリスクが高い症例

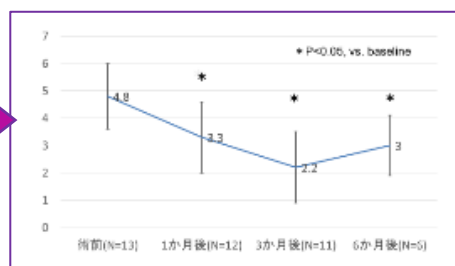
WAVE は安全性の高い治療ですが、血尿(12.5%)、血精液症(7.4%)、排尿困難(16.9%)、頻尿(5.9%)、細菌感染症(3.7%)、尿閉(4.4%)、精液量減少(3.7%)などが報告されています。

当院では本年 8 月までに 19 例の患者さん(年齢 61-92 歳、平均 76.5 歳)に施行し、重篤な合併症を認めず、別図の如く、術後 1 カ月の時点から自覚症状(IPSS: 国際前立腺症状スコア、20 点以上が重症)、QOL スコア(5 点以上が重症)の有意な改善を認め、6 カ月目まで維持されていました。また尿閉により術前に尿道カテーテルが留置されていた 5 例の患者さんは全例現在までカテーテルフリーで経過しています。以上より、安全かつ有用な治療法ですので、適応のある患者さんがいらっしゃいましたら御紹介頂ければ幸いです。

IPSS
の推移



QOL スコア
の推移



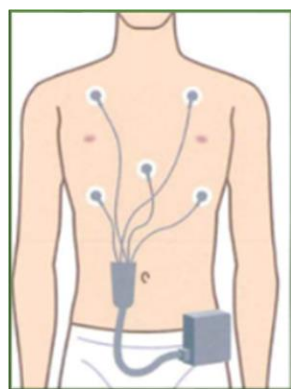
1 週間ホルター心電図検査始めました

副検査技師長

山中 順子

ホルター心電図（Holter ECG）は、日常生活を送りながら心電図を記録する検査です。動悸やめまい、胸の痛みなどの症状がある際に心臓に異常がないかを調べるために行われます。1 週間ホルター心電図検査は最大 7 日間の計測により 24 時間計測では捉えにくい発作性心房細動などの不整脈の検出率が向上し、早期発見・早期治療に役立ちます。

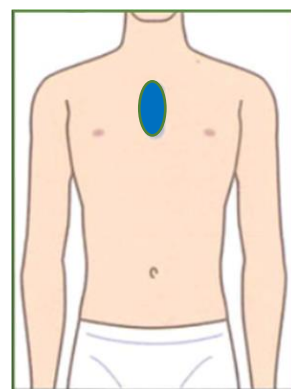
【検査の流れ】



従来



絆創膏タイプで誘導コードがなくなり、薄型、軽量サイズになりました



当院使用の 1 週間ホルター心電計

装着：誘導コードのない絆創膏タイプの電極を皮膚に貼り、心電図を記録する機械を装着します。

日常生活：検査期間中は普段通りの生活を送りますが、行動や症状を記録する必要があります。



入浴・シャワー：装着したままシャワーや半身浴が可能です。



検査終了：検査期間が終了したら、再度病院に行き機械を外します。その後、記録されたデータを解析し、医師からの結果説明を受けます。



注意

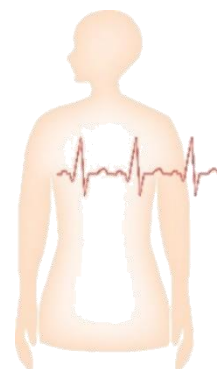
電気毛布や電気カーペットの使用は避けてください...



地域連携から検査のみの依頼は出来ません。循環器内科に紹介受診してください...

1 週間ホルター心電図が有効だった症例

64 歳女性、失神され受診されました。普段から 2～3 秒程度のめまいを自覚していましたが、失神は初めてで原因検索目的で 24 時間心電図検査を実施しました。2 秒程度の心拍がないところがありましたが、失神を伴うような所見ではないため 1 週間ホルターを実施しました。検査中 10 秒程度の心停止が記録されていたため、ペースメーカーを装着され、現在は症状が無く落ち着いています。



高額医療機器の紹介

放射線技師長

北住 一哉

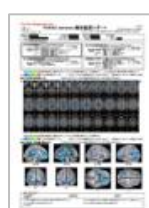
MRI 装置
(1.5T と 3T)

※1.5T 装置には、「BOLDscreen 32 UHD」を導入。

検査中に動画を見ることが可能となり MRI 特有の圧迫感から解放され快適に検査を受けていただけます。



「VSRAD®advance2」により MRI 検査で認知症の原因とされる脳の萎縮を検査することができます。アルツハイマー型認知症の重症化を防ぐために重要な早期発見にも効果的として注目を浴びています。

MAGNETOM Skyra
3.0T (シーメンス)MAGNETOM Avanto Fit Biomatrix
1.5T (シーメンス)CT 装置
(128 列と 256 列 DE、
マルチスライス CT)

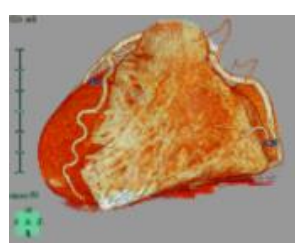
※体内金属が入っている方にもアーチファクトを低減させた良好な画像を提供することができます。また腎機能低下 (eGFR:30~45ml/min/1.73m²) の患者様にも造影剤量を調整した Dynamic 撮像が可能です。



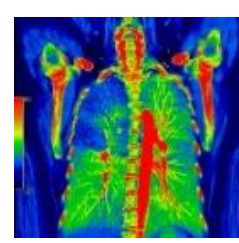
通常画像



金属アーチファクト低減画像



心臓 CT



PE (肺塞栓症) 画像



被ばく管理 (DRLs2020 との比較)

当院では使用する放射線量を適正に管理し、検査における被ばく線量を DRLs (Diagnostic Reference Levels: 最新の国内実態調査結果に基づく診断参考レベル【診断に要する線量】) の設定を意識して最適化に努めています。

CT 装置	基準指標	当院平均	
	DRLs2020 (診断に要する線量)	128 列 256 列	被ばく低減率
【検査部位】	CTDIvol (mGy)	CTDIvol (mGy)	
頭部単純	77	62	19%低減
胸部単純	13	10	23%低減
胸部～腹部	16	12	25%低減
腹・骨盤部	18	10	44%低減

Revolution
CT256 列 (GE)SOMATOM Definition
AS+128 列 (シーメンス)

放射線部では検査に使用される各装置の精度管理を実施し、使用する放射線量が適正であるか、ALARA (As Low As Reasonably Achievable) の原則を遵守して患者様に応じた至適画像を提供できるよう心がけています。また装置の機能を活かした検査も行っていますので、引き続き検査のご依頼を頂けますよう宜しくお願い申し上げます。



チームで栄養をサポート

摂食・嚥下障害看護認定看護師
管理栄養士・NST 専門療法士
栄養管理部長 兼 内科部長

細田 郁乃
加嶋 真帆
星島 正彦

NST 栄養サポートチーム

私たちの病院では、入院中の患者さんの栄養状態をサポートする「栄養サポートチーム (NST)」が週に一回、病棟をラウンドしながら活動しています。このチームには、医師や歯科医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、そして言語聴覚士など、様々な専門職のスタッフが集まっており、それぞれの専門知識を活かしながら、患者さん

一人ひとりの体調や栄養状態に合わせた食事の形態の選択や栄養の取り方について、アドバイスを行っています。

例えば、栄養状態が低下した方への経口栄養補助食品 (ONS) の提供、口から食べることが難しい方へは、点滴やチューブを使った栄養補給など、患者さんに必要な栄養をお届けするためにきめ細やかな支援を行っています。



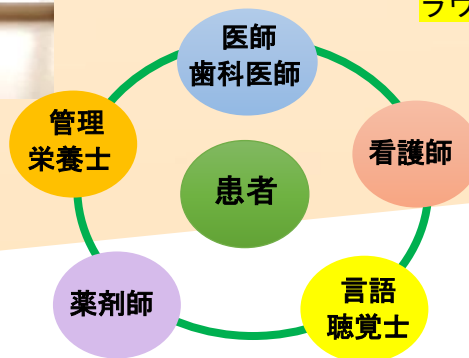
NST・SST チーム



ラウンド風景



SST 摂食嚥下支援チーム



本年6月からは、新たに「摂食嚥下 (せつしょくえんげ) 支援チーム (SST)」の活動も加わり、NSTと協力して病棟をラウンドしています。このチームもまた、医師をはじめとした多職種のスタッフから構成されており、特に、誤嚥 (ごえん) のリスクが高い患者さんや、病気や加齢で飲み込みの力が弱くなっている患者さんに対して、NSTと一体となったサポートを行っています。嚥下 (えんげ) 内視鏡を使ってしっかりと飲み込みの状態を評価し、それに基づいたリハビリ計画を立て、その上で、チームと病棟の看護師が協力して、安全に食事を摂るための姿勢の調整や口腔ケア、薬の調整、嚥下訓練や嚥下体操の指導など、多職種の専門性を活かしてトータルで支援しています。

栄養状態を適切に管理することは、患者さんの治療にとって大きな柱です。私たちは、これからもふたつのチームが一体となって、患者さんが安心して食事ができるように、早く病気から回復するように、また退院後の生活の質 (QOL) が向上するように、活動の幅を広げていきたいと考えています。

イベント

第6回地域医療連携懇談会開催のご報告

10月24日（木）第6回「県立丹波医療センター 地域医療連携懇談会」を開催しました。

講演は2題で、1題目は歯科口腔外科部長の竹内純一郎医師による「歯科と耳鼻科の連携による歯性上顎洞炎の治療」の講演でした。日頃から地域の歯科医師の方々より紹介いただいている中で、上顎歯から起こる上顎洞炎の診断により、耳鼻科と連携共同で治療した多くの事例紹介でした。

2題目は、内科医長の朝治直紀医師による「ウイルス性肝疾患と脂肪性肝疾患について」をテーマに、世界には多種のウイルス性肝炎がありその中でも日本に多い肝炎についての、現在の治療やその効果について詳しい説明でした。また、肝機能は人種によって差がありアルコールの分解にも影響がある、といった身近な話題も紹介いただき、会場の雰囲気緩和の場面もありました。

今回は、丹波圏域の医療機関の皆様、特に歯科医師会・薬剤師会からも多くご参加いただき、連携に繋がる機会の一端になれればと思っております。今後も地域の中核病院として、関係機関の皆様のご協力をいただきながら、地域医療の充実に努めて参りたいと思っております。ご多忙の中、ご参加いただきありがとうございました。

地域医療連携センター 井上 清美



街の医療機関

地域医療を担う近隣の医療機関を紹介させていただくコーナーです。
医療機関の特徴を知り、地域住民の皆様に良質かつ効率的で切れ目のない医療が提供できる連携を目指します！
今号は、いわくらクリニックをご紹介します☆

いわくらクリニック 岩倉 亮 先生（丹波篠山市）

10月28日にいわくらクリニックを訪問し、院長の岩倉亮先生にお話を伺ってきました。岩倉先生は丹波市氷上町の出身で、県立柏原高校を卒業後、兵庫医科大学に進学されました。お父様は歯科医でお兄様が後を継いでいるそうです。大学卒業後は、兵庫医科大学病院やささやま医療センター、大阪回生病院、はりま病院に勤務され、今年8月に丹波篠山市にご開業されたばかりです。小学生の頃から野球やサッカー、大学ではスキーも嗜まれ、ガンバ大阪のチームドクターもされたことがあって、スポーツ整形外科に力を入られています。その為、エコーだけでなく、MRI も導入して丹波圏域のスポーツ少年が京阪神まで通わなくても田舎でも対応できるようにしたいそうです。奥様も精神科・心療内科の医師として一緒に開業されており、自殺の多い丹波圏域での貴重な存在だと思います。

「人に優しく」をモットーにホームページにも「For your Smile」と掲げているだけあって、笑顔の絶えないお優しい先生でした。（芝記）



外 来 診 療 担 当 表

診療科 \ 曜日		月	火	水	木	金	備 考
内 科	一般、初診	藤井 康和 (消化器・肝臓・腎臓) 京谷 萌	林 友鴻	見坂 恒明 藤原 稜	森 寛行	見坂 恒明	◎ 二次精密検査は、一次健康診断結果票をご持参ください。
	専門	河崎 悟 (循環器) 西崎 朗 (消化器)	新倉 悠人 (循環器) 星島 正彦 (循環器・腎不全)	松本 賢亮 (循環器) 佐藤 悠 (消化器) 津田 一範 (消化器)	松本 賢亮 (循環器) 西崎 朗 (消化器)	西尾 亮 (循環器) 朝治 直紀 (消化器)	◎ 水曜 松本医師 診療時間 第2・4水曜は10:30まで
	予約再診	森 寛行		藤井 康和	藤井 康和	第1・3・5 田中 健雄 (消化器)	◎ 次回の再診予約のあった患者さんのみ
	こころと記憶の診療科	射場 亜希子					◎ 他医療機関等からの紹介予約のみ
	呼吸器	奥野 恵子	奥野 恵子 (腫瘍)			小林 和幸 (第1・2・4) 奥野 恵子	◎ 午後(再診のみ)
	ペースメーカ		第1・2・3・4 午後 河崎 悟 井上 朋也				
	糖尿病				鈴木 正暉 第4 14時～ 大橋 紳一郎		
	緩和ケア		板倉 崇泰 午後			田中 祐子	◎ 緩和ケア：院内がん相談支援センターで予約された患者さんのみ
	がん治療支援	板倉 崇泰 (午前) 辻 麻人 (午後) 大塚 喜久	板倉 崇泰	板倉 崇泰	板倉 崇泰	田中 祐子	
	脳神経内科		松野 泰幸	大塚 喜久		大塚 喜久 (もの忘れ)	
	腫瘍・血液内科		薬師神 公和		水谷 優	水谷 優	
	膠原病				第2・4・5 河野 誠司	上田 洋 (第1・3・5) 山本 英里子 (第2・4)	
	リウマチ内科				朝治 直紀		
	肝臓				星島 正彦		
	禁煙・睡眠 無呼吸・栄養						
小 児 科	1 診	井上 真太郎	永井 貞之	松本 泰右	市川 裕太	酒井 國安	
	2 診	井上 遼太郎	市川 裕太	松岡 輝	永井 貞之	松本 泰右	
	3 診	松岡 輝	光丸 誠紘	光丸 誠紘	井上 遼太郎	井上 真太郎	
	専門外来 (予約)	第2・4 内分泌 坊 亮輔 第1・3・5 神経 山口 宏 松本 泰右 担当医 (予防接種)	井上 真太郎 (夜尿症・循環器) 酒井 國安 (アレルギー疾患) 担当医 (1ヶ月健診)		松岡 輝 井上 遼太郎 永井 貞之	永井 貞之 市川 裕太	
外 科	一般・消化器	寺井 祥雄 畑 みなみ 第1・3 肝臓 木戸 正浩	担当医	藤田 恒憲 戸田 朱香 第2・4 肝臓 木戸 正浩	岡副 佑城	藤田 敏忠	
	乳腺外科	岸 淳彦		岸 淳彦		岸 淳彦	
	整形外科	上本 晴信 山本 士優斗	芝 昌彦 戸田 誠也 上本 晴信 (予約のみ)	上本 晴信	芝 昌彦 山本 士優斗	芝 昌彦 戸田 誠也	◎ 金曜 芝医師は初診のみ
リハビリテーション科		上本 晴信	芝 昌彦	上本 晴信	芝 昌彦	芝 昌彦	◎ リハビリ訓練(要予約)は毎日実施
脳神経外科		甲田 将章 (第1・3・5) 藤本 陽介 (第2・4)	岡村 有祐	担当医 (予約のみ)	岡村 有祐	井村 隼	◎ 水曜 予約診療のみ(救急対応要相談)
皮膚科			宮崎 梨香子	村田 洋三	藤原 進	村田 洋三	◎ 受付時間 火曜 11:00まで
泌尿器科		岡本 雅之	山崎 隆文	岡本 雅之	山崎 隆文	兵頭 洋二	◎ 受付時間 月～木曜 11:00まで 金曜 10:30まで
産婦人科	1 診	丸尾 原義	望月 慎介	武田 晃子	望月 慎介	鈴木 美奈子	
	2 診	出口 雅士	三原 綺乃	中島 由貴	真鍋 仁	中島 由貴	
	周産期		担当医		担当医		◎ 午後のみ・予約診療のみ
眼 科		9時30分～ 棚瀬 真希子	金光 聖隆 金子 景佑	第1・2・4・5 金光 聖隆 第3 菅澤 淳 林 一	金光 聖隆 金子 景佑	金光 聖隆 金子 景佑 午後 林 一	◎ 診療開始時刻 棚瀬医師・林医師 9:30～ ◎ 林医師は予約診療のみ
耳鼻咽喉科		午後 四宮 弘隆 (第1・3・5) 上田 隆 (第2・4) 柿木 章伸 (予約のみ)	藤井 大智	午後 由井 光子	柿木 章伸	藤井 大智 (第1・3・5) 藤原 肇 (第2・4)	◎ 受付時間 月～水、金曜 11:00まで 木曜 10:30まで ◎ 月・水曜 午後のみ
放射線科	一般	楠 直明	楠 直明	楠 直明	楠 直明	楠 直明	◎ 予約診療のみ
	リニアック		川口 弘毅		梶原 彰文		
歯科口腔外科		竹内 純一郎 寺岡 駿	竹内 純一郎 寺岡 駿	竹内 純一郎 寺岡 駿	竹内 純一郎 寺岡 駿	竹内 純一郎 寺岡 駿	◎ 予約診療のみ



入院される患者さんへ



～早期退院および早期転院等に関するご理解ご協力についてのお願い～

当センターは、丹波地域の中核病院として、県民の皆さんの命と健康を守るため、救急医療をはじめ質の高い医療の提供を目指しています。

このため、できるだけ多くの方にご利用いただけるよう、病状が安定された入院患者さんにつきましては、救急入院患者のために早期退院や他の医療機関への転院をお願いしております。

何卒ご理解、ご協力いただけますようお願いいたします。

